

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ジョイール稲毛		
○保護者評価実施期間	2026年2月3日		～ 2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年2月3日		～ 2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援員間のコミュニケーションの高さ	・支援員間でかなり活発的に支援内容に関して考えている様子が伺える。	・それだけでは限界がある為、定期的に形式化した事業所内の支援会議を開き、児童の支援方法について模索していく。
2	認知機能トレーニング	・生活の基盤となる認知機能トレーニングを実施し、毎日の積み重ねで、利用者の「できた」という経験を引き出すことができている。	・その児童に合わせた教材を用意し、再検討していきながら、「できた」を感じられるように支援の内容を考える。
3	環境の良さ	・周辺には道路を介さずに行ける公園があったり小学校や保育所も豊富にある為、送迎の動線もかなり組みやすい。 ・地域の小学生との交流も盛んに行えている。	・安全を管理しながら時に、公園で色々な方々との関わりを形成していく。 ・近隣の学校には訪問支援もいっているため関係構築は引き続き行っていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースの狭さ	・学習スペースと遊びのスペースが一体化しているため、集中力が分散されてしまう。 ・人数に対して事業所がかなり狭い。	・パーティションや小さい椅子機の用意等を行い、スペースを分けられるようにしたい。 ・個室をもう少し有意義に使っていきたい。
2	保護者との交流の少なさ	・父母会やペアトレなどは存在していないこと ・いい意味でも悪い意味でもデジタル化で面談も電話が多く顔を合わせた会話が少ない。	・家族支援がこの仕事において必要不可欠。 ・より保護者との関係を気づくためには、もっとコミュニケーションが取れるように働きかける必要がある。またそういった機会を作っていく必要があるのではないかと感じる。
3	避難訓練等の少なさ	・避難訓練などの災害対策が定期的にしっかりと行っていない現状がある。	・今後いつどのタイミングで起きるかわからない災害に対しても、いつでも対応ができるように備えておく必要性を感じる。

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
----	-------------------

事業所名	ジョイーレ稲毛
------	---------

公表日 2026年3月30日

利用児童数 22

回収数 13

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1		2		利用人数の調整を行い、スペースの確保に努めます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2		1		具体的に何人その日に支援員が配置されているのかを保護者に伝える機会はないため、必要であれば、何人の支援員が対応をしているのかを明記します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	1		3		階段等危ない箇所に置いては支援員が必ず手を取り乗降を行うように努めます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1		1		必ず毎日の清掃を行い、細かい玩具についても定期的に消毒を行えるように徹底します。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2		1		課題に合わせて支援計画の更新を行いより専門的な支援が行えるように努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1				面談時に保護者の意見を必ず聞きニーズにこたえられるように支援を行っているため、引き続き継続して行っています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	3				具体性がかけないようにより細かく支援内容が書けるように努めます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1				引き続き行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	3		3		コグトレ等の取り組みは固定化されてしまいがちになってしまったため、レベルの調整や新しい取り組みを始められるよう支援を行っていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2	2	8		他の児童クラブなどとの交流は当初からありませんでした。行ってもよいのであれば一つ楽しい企画になるのではと思いますが、難しいような気がします。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1				細かく支援プログラムを保護者に伝えられるように努めます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12			1		保護者の方がお話を聞いてサービスを理解していただけるように説明の仕方を工夫していきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	4	3	4		ペアレントトレーニングに関しては1度も開催したことが無かったため、会社全体で行えるかどうか協議し、必要に応じて行うようにします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12	1				こちらから健康状態に対して連絡することがあまりなかったため、こまめに連絡を取ってお子さんの状態を確認できるようにします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1				上記に同じく、細かく連絡を取れるようにします。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	2				問題なく行えていると感じるため、引き続き行っています。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	7	4	父母会に関しては全く行えていないのが現状です。行うべきか会社全体で話をする必要があるかと思えます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	2			迅速に対応ができている場面も多い為、今後も引き続き行っていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		2	公式LINE等での案内は積極的に行っています。SNSに関してはブログやInstagramなどの公式アカウントはないため、できる範囲でのSNS活動を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		4	訓練の前には必ず、保護者の形に周知をし、安全配慮の観点で安心をしてもらえるよう日頃から取り組んでいます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1		5	上記と同じです。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	1		3	保護者への周知が行えていなかったため、安全を確保している事をより具体的に伝えられるよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			1	小さい怪我でも必ず報告を入れるよう徹底させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			より楽しく活動して貰えるように、支援内容の固定化を最小限にしています。また長期休みなどのイベントの充実化を図っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	2			今後も継続して行っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2026年3月30日			
ジョイール稲毛					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	1		・学習スペースと自由スペースを分けられたらいいなと感じている。(視覚・聴覚配慮) ・来年度から放デイが増えるため、教室内が狭くなるのではないかと感じている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			人員的には足りているが、タイミングや今何をすべきなのかを優先することが難しいことがある為、児発管が中心となって声掛けをしていく必要があると感じる
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	1	现阶段では、わかりやすい構造化になっていると思う	階段や施設内はバリアフリーとは程遠いように感じる
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	1		・利用者の中で勉強したい場所を決めており、自由な環境ではあるが、集中がかけたり周囲がきになってしまい、はかどらない利用者もいる
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	1	個室の数は少ないが、いつでも使えるようになっている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	1		特定の児童に関してはできていないが、課題が見つかりにくい児童に関してはモニタリングが近くなるとできないときもあるように感じる
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1		評価表の存在は知っていたが公表してもらったことはない
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			時間に余裕やゆとりがなく、全員でお話しをする機会を作ることにはかなり難しい時が多い
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		支援員が主体となってコグトレの準備を通して支援内容について考えることができていると思う	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		計画を通してコグトレの準備を行うことができている	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1		その日の人数や、時間帯などかの色々な環境要素が重なりできない時もある
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2		コグトレを通して行うことができていると思う	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		・定期的に見直すかを支援員に相談し、活動内容を変更していると思う ・活発に何が的確な学習課題なのかを考えることができている	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	1		・朝会で支援内容を確認する場面を作っているが、児発管がもう少しアドバイスやこうしたらいいのではないかなどの建設的なお話しができるとういと感じる
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		HUGや支援記録に記載している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	1	1		4つの基本活動を知らなかった
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2		コグトレを行う時間、利用者同士で遊ぶときの声掛けを最低限行い、自己選択を尊重した支援を意識することができていると思う	問題なくできていますが、自己選択が間違った方向に進んでいかにないように声掛けをしながら支援を進めていく
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		必要なタイミングがあれば、責任者に提案をして連携してもらおう伝えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		2		就学前の施設からの情報共有に関してはこちらから連絡を取ることはおろそか、保護者からお話しを聞くにとどまっている。→聞くことがよいのかもわからなかった。
関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		2		特にそのような機会が設けられていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	1	外遊びの公園にて交流できている	公園での関わりはありますが、児童クラブ等の関わりは全くない。むしろ関わりを持っていいの個人情報やプライバシーの観点から悩ましい問題かなと感じる。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		2		参加をしたことがない。参加できるなら参加がしたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2		送迎時のタイミングやLWにて伝えることができています	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		2		全く行っていない為、今後行う場合は会社全体で考える必要があるように感じる
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2		モニタリング面談や送迎時の保護者との会話を通して行うことができています	もう少しこちらから保護者にアプローチをかけることができるとよいかなと思うため、今後はできる限り行っていく
保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2		父母会に関しても全くできていない為、必要があれば検討する
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		・ヒヤリハットに記載したり、1on1の面談にて相談することができている ・些細なことでも連絡を入れることを今後も意識する	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2			SNSに関しては限りがある為、難しいことがある。MEO投稿に関しては行っている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		情報伝達を行う際に、文面に迷った際は周囲の支援員と相談して言葉に気をつけることができていると思う	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2		地域住民を招くことは物理的に難しいと感じる
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1		訓練の頻度に関しては少し少ない気がするため、今後は予定を組んで行えるように、また保護者にも周知をして行う。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	2			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	1	1		おやつを食べる関係で必ず確認をしている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	1		基本的には危険が生じる場面は特に注意をして活動を行っていますが、どこに危険性があるのか何が危険なのかまで共有することはできていない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		朝会にて情報共有し、すぐに対策を考えることができていると感じる	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2			